

団体番号	27	団体名	公益財団法人宮城県国際化協会	県主務課	経済商工観光部 国際企画課
第IV期計画における 県の改革の進め方		会費収入等が減少していることから、引き続き収入確保に努めていくとともに、経営の安定化を図るよう必要な助言又は指導を行います。			

(1) 経営改善の目標

<ul style="list-style-type: none"> ①賛助会員の募集による会費収入の確保。 ②管理経費の最大限の節減。 ③事業見直しによる経費の節減及び収益の確保。 ④受託事業、各種助成金制度の活用による財源の確保。

(2) 改革スケジュール及び取組状況（29年度）

主体	改革スケジュール	取組状況
団体	平成29年度 ○目標①～④の実施 ○経営改善プランの収支見込表に沿った内容となっているか適宜、点検する。（目標を達成していない場合は、達成のための検討・修正を行う。）	<ul style="list-style-type: none"> ○賛助会員の加入促進を図り、新規加入を8件獲得した。 ○平成29年度から管理課長の職を廃止し、定数の削減を行った。 ○事務事業の見直しを図るとともに、専務理事の報酬額を引き下げ、さらに理事長、専務理事の報酬月額を5%、管理職手当を5%削減した。 ○県から新規に外国人介護人材受入啓発事業を受託し、また自治体国際化協会から多文化共生のまちづくり促進事業に係る助成を受けた。
県	○収支均衡を目標に、管理費の抑制と効率的な運営を行うための指導・助言を行う。	○当協会が平成27年度に策定した経営改善プランに基づき、計画的に事業の見直しや経費削減が図られるよう、指導・助言を行った。

(3) 数値目標及び実績

項目	単位	26年度		27年度		28年度		29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
賛助会員新規加入	%	5%増	13.6%増	5%増	5.8%増	5%増	5.8%増	5%増	6.3%増
公的団体等の助成等の活用	件	2	2	2	1	2	1	1	1

(4) 公社等外郭団体経営評価委員会の意見

<p>【平成27年2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○団体は、これまでの経緯から幅広い事業を実施しているが、現在の経営資源では、その全てを継続することは困難である。県民ニーズを踏まえ、県の多文化共生社会推進計画と整合を図りながら、抜本的な事業の見直しと積極的な経費節減に取り組むこと。【団体】 ○会員増の取組を継続するとともに、公益法人として実施可能な範囲で事業の有料化を検討すること。収支均衡を念頭に、安定的な収入確保策を検討すること。【団体】 ○団体の経営改善計画策定にあたっては、事業や人員体制の見直し、収入確保策等について、適宜適切な助言を行うこと。また、県が団体に対して求める役割に基づき、計画の実現についても支援すること。【県】

(5) 特記事項

特になし
